



2022年5月12日

各位

会社名 株式会社ムロコーポレーション
 代表者名 代表取締役社長 室 雅文
 (コード番号：7264 東証スタンダード市場)
 問合せ先
 役職・氏名 執行役員管理本部長 山口 誉
 電話 028-667-7122

業績予想の修正及び営業外収益（為替差益）の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年2月10日公表の2022年3月期通期連結業績予想及び2021年8月5日公表の2022年3月期通期個別業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

また、2022年3月期において営業外収益（為替差益）を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

2022年3月期通期（2021年4月1日～2022年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	20,361	972	1,503	1,017	円 銭 168.34
今回発表予想 (B)	20,533	1,259	1,963	1,347	223.07
増減額 (B - A)	172	287	459	330	-
増減率	0.8	29.6	30.5	32.5	-
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	18,965	997	1,589	974	161.31

2. 個別業績予想について

2022年3月期通期（2021年4月1日～2022年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	16,886	1,674	1,114	円 銭 184.48
今回発表予想 (B)	16,332	2,083	1,477	244.54
増減額 (B - A)	△554	409	362	-
増減率	△3.3	24.5	32.6	-
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	15,461	1,575	998	165.33

3. 修正の理由

(連結業績)

2022年3月期連結累計期間につきましては、2022年2月10日に公表しました数値に対して、売上高は0.8%増加とほぼ予想通りとなりました。営業利益につきましては、原材料及び資源価格が高騰しましたが、想定以上に経費負担増の抑制を進められたことにより、予想を29.6%上回りました。経常利益につきましては、20年以上振りの円安進行により為替差益が404百万円発生したこともあり、予想を30.5%上回りました。以上の様な要因により、親会社株主に帰属する当期純利益は予想を32.5%上回る見込みとなりました。

(個別業績)

2022年3月期累計期間につきましては、半導体の供給不足やサプライチェーンの混乱等により、客先各社の生産動向が上期の増産基調から下期の減産基調へと推移したこともあり、2021年8月5日に公表いたしました数値に対して売上高は3.3%下回りました。経常利益につきましては、客先各社の増産内示後減産の繰り返しにより完成品在庫が積み増されたこと、積極的にコスト削減活動を推進して効果を上げたこと、円安による為替差益321百万円を計上したこと等により、予想を24.5%上回りました。以上の様な要因により、当期純利益につきましては32.6%上回る見込みとなりました。

4. 営業外収益（為替差益）の計上

2022年3月期連結会計年度及び2022年3月期個別事業年度において、記録的な円安進行により営業外収益の為替差益として連結で404百万円、個別で321百万円計上しております。これは主に外貨建ての預金及び債権の評価替えの影響によるものです。

以 上